

## 「大人の学び直し支援事業」業務委託公募型プロポーザル審査基準

### 1 審査方法

本審査基準をもとに審査を行う。なお、参加事業者が1事業者のみであっても審査を行うものとする。

### 2 審査内容（書類評価・技術評価・価格評価）

#### （1）1次審査 書類評価

参加資格要件、審査関係書類を確認する。

#### （2）2次審査 技術評価及び価格評価

##### ①技術評価（200点）

プレゼンテーション及び審査委員からのヒアリングをもとに審査する。審査の内容は次のとおりとし、提出された企画提案書及びプレゼンテーションの内容に基づき評価を行う。

評価項目	評価観点	配点
業務実績	リカレントや転職支援等それらに類する業務をしたことがあるか。 ※学び直し支援における①イベントの開催②情報提供や相談支援③資金支援④フォローアップのそれぞれの業務内容について実績があるか。	20点
実施体制	業務内容に対して適切な実施体制であるか。 ※責任の所在が明確か、総括者及び従事者の記載、協議及び連絡体制の記載、緊急事態への対応	20点

評価項目	評価観点	配点	
提案内容	(1) 学び直し普及に向けたイベントの開催		
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの参加者を集められるか。</li> <li>・参加者の学び直しの後押しや、きっかけづくりができるようなイベント内容であるか。</li> </ul>	30点
	(2) 学び直しに向けた情報提供や相談支援		
	情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの対象者に見てもらえるか。</li> <li>・学習関連情報等を、広く簡単に閲覧できるか。</li> </ul>	15点
	相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者の相談ニーズへ柔軟に対応できる環境か。</li> <li>・デジタルディバイド対策が含まれているか。</li> </ul>	15点
	(3) 学び直しに必要となる資金の支援		
	資金支援 制度設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金支援に係る業務遂行が確実に行われるか。</li> <li>・対象者が簡単な方法で申請できるか。</li> <li>・過去の実績及び知見等を活かして、制度設計（補助金申請に係るフローチャート作成や対象となる資格の選定等）に必要なアドバイスを得ることができるか。</li> </ul>	30点
	(4) 支援者のフォローアップ		
フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント参加者や支援者に対して効果的な手段、方法でフォローアップできるか。</li> <li>・今後の事業展開に支援者を巻き込むことができるか。</li> </ul>	30点	
総合的視点	プレゼンテーション及び質疑応答を通して、事業の趣旨、加えて本市の目的及びめざす将来像を十分に理解した提案であるか。	30点	

評価項目	評価観点	配点
追加提案（任意）	仕様書に示す業務項目以外に、市民や職員のメリットとなる追加提案の内容。 ※追加提案に係る費用は見積額の範囲内で対応できること。	10点

## ②価格評価（100点）

見積書（様式第4号）に記載の見積価格に係る評価点については、以下の方法で計算する。（小数点第1位四捨五入）

$$\text{価格評価点} = \left( 1 - \frac{\text{見積書の提案金額}}{\text{予算上限額}} \right) \times 100 \text{点}$$

## 3 優先交渉権者の選定

審査基準に基づき2次審査の各事業者に対する審査委員の採点の平均得点（小数点第1位四捨五入）である技術評価点と価格評価点を合計し、その合計得点が最も高い提案者を優先交渉権者として選定する。なお、合計得点と同じとなった場合は、見積金額のより低い提案者を選定する。